

## 春からの贈り物 さくら開花宣言&さくらまつり

3月17日・30日

市は、平成18年から気象庁OBを「さくら観測員」として委嘱し、3月上旬から桜の観測を行なっています。

今年は3月17日(月)、丸山公園の標本木に5輪の花を確認し、石橋市長とさくら観測員、集まった市民の皆さんとともに開花宣言のプレートを標本木にかけて開花宣言をしました。

宇和島の気候はさくらに適しているようで、平成18年以降4回、日本一早い開花宣言を行っています。今年は、前日の3月16日に高知県宿



毛市が開花宣言を行い、惜しくも日本一は逃しましたが県内では一番早い開花となりました。

3月30日(日)、うわじま虹色ツーリズムの皆さんによる「さくらまつり」が、丸山公園の環太平洋大学短期大学部さくらキャンパス前駐車場にて行われました。



前日から朝まで降り続いた雨のため、足元の悪い曇り空の下での開催となりましたが、屋台や、フラダンスなどのステージイベント、例年行なわれている虹色ツーリズム体験部会の



佐々木 嶺 さんによる、石臼でのきな粉挽き体験コーナーなど、満開のさくらを見に来た皆さんも、花見とあわせて楽しんでいました。

## 地にぎりグランプリ 入賞作品商品化決定！！

3月27日

宇和島商工会議所青年部が企画し、昨年11月の『産業まつり』内で、地元ならではの食材を使って作るおにぎりのコンテスト『地にぎりグランプリ』が開催されました。255点の応募の中から、見事グランプリを獲得した「ゆず皮にぎり」と、入賞した「伊達にぎり」の2品が商品化されることが決定し、市役所にて石橋市長への報告と試食が行なわれました。

今回、2品が市内の飲食店で商品として販売されることが決定したほか、「ゆず皮にぎり」は4月22日からコンビニエンスストアでも販売されています。

「ゆず皮にぎり」を考案した武吉 彩香さんは、「自分の書いた絵から商品が生まれたことが嬉しいです。お年寄りの方から若い人まで多くの人に食べて欲しいです」と商品化の喜びを語りました。



## 宇和島水産高校の地域 産品開発支援に関する協定の締結

3月27日

3月27日(木)、市と株式会社ヨンキュウ、株式会社愛媛銀行が連携し、宇和島水産高校が実施する地域産品を用いた製品開発を支援協力する協定書の締結を行いました。

この協定は、「ブリ大根缶詰」や「マハタぶるるん丼」などの商品開発に取り組む宇和島水産高校を、市や企業の持っている情報やノウハウなどを用いて後押しすることにより、環境に配慮した活力ある地域産業の振興や、文化の発展などに貢献することを目的としています。

石橋市長は、「水産高への後押しが、ひいては市全体の利益となるのが理想だと思います。皆さんが協力しあい、実りのある協定になることを願います」とあいさつしました。

